

令和6年度
事業計画書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

令和6年度 事業計画

事業運営方針

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会は、定款に掲げる目的「(略)観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化及び文化の向上に寄与する」ことの達成に向けて、取り巻く社会の機微を的確に捉えながら各種事業を柔軟且つ効果的に展開し、観光関連団体等とのさらなる連携を強化する中で尚一層の地域の魅力発信に努めて参ります。

令和5年は、新型コロナウイルス感染症の影響で停滞を続けた社会経済が平常へと戻りつつ、当地における観光需要も祭りイベント等の通常開催の復活により、徐々に高まった状況にありました。当協会におきましては、アメリカの新聞紙ニューヨーク・タイムズの「2023年に行くべき52ヵ所」の中で盛岡が世界で2番目に紹介されたことを受け、盛岡駅構内に臨時の観光案内所を増設し、急増した外国人観光客等への英語対応を含めた案内に尽力したほか、街なかでのさんさ踊りイベント「街なかさんさ」を昨年に続いて開催して賑わいの創出に貢献するなど、各種祭り行事の振興に努めました。また、誘客面におきましては、MICE助成金制度等を活用した上で、各種商談会への参加や各方面への積極的且つきめ細やかな情報発信を継続して行い、盛岡への誘客と開催を呼び掛けたところです。

さて、ポストコロナが新たな課題とされる今後におきまして、これまで停滞を余儀なくされた観光経済の復活と躍進、さらには持続可能な社会の実現に向けて、自主性と協調性を持った戦略がこれまで以上に求められることから、これまでとは異なる観光客等のニーズを的確に捉えた上で、令和6年度は以下の事項を核に各種事業を推進します。

1. 観光振興について、令和5年1月に盛岡が海外メディアにより訪問好適地として取り上げられたことを受け、引き続き需要増加が見込まれる観光客の誘致促進において、教育旅行を含む観光客誘致説明会への参加や旅行会社への情報提供など誘致活動を展開するとともに、観光客の利便性向上に向けて関係機関等と連携した観光案内、伝統芸能公演など受け入れ態勢の充実や広域連携等の推進に努めます。
2. コンベンション振興について、首都圏及び仙台の主催団体への誘致活動を強化することで盛岡MICE助成金など各種支援助成制度の浸透を図り、東北の中での盛岡の注目度向上に努めます。誘客素材として令和4年度に作製したMICE誘致PR動画やホームページを活用し、一層の誘致促進に向けて地元受け入れ関係者等への働き掛けを行うとともに地元関連企業との連携を深め盛岡の活性化に努めるほか、国際会議を盛岡へ誘致すべく観光庁とも新たに情報共有し積極的に活動していきます。
3. 施設の管理運営について、指定管理を行っている「盛岡市観光文化交流センター」「もりおか歴史文化館」において、祭り・観光イベントと連動した事業による観光客・市民の利用促進を図り、施設利用者のニーズを的確に受け止めた管理運営を実践し、来館者の増加と地域の賑わい創出に結び付けます。また、「盛岡市観光文化交流センター」においては、自主企画事業を積極的に展開し地域文化の向上と魅力発信に努めるとともに、街なかMICE会場としての利用促進の為、東北、全国大会等の誘致にも取り組んでいきます。

公益目的事業

公1 【観光情報の発信及び国内外観光客の誘致促進並びに受入体制の整備など観光振興に関する事業】

1. 広報宣伝事業

(1) 広告宣伝事業

イベント・まつり等の情報提供や地域産品のブランド化のため、新聞や旅行雑誌、パブリシティ等を利用した情報宣伝活動を行うとともに、国内及び海外からの観光客及び旅行代理店やメディア取材等に旬の情報を提供する。

(2) インターネット活用事業

ホームページや SNS を活用して盛岡及び周辺地域の観光情報の収集に努め、魅力ある観光情報を内外に発信するとともに、令和5年度に引き続き「盛岡ノスタルジックトリップまち歩き MAP」(当協会推せんの店掲載)を運営し、観光客らの利便性向上に寄与する。

2. 観光案内事業

(1) 観光案内施設整備事業

岩山スカイハイツを利用して観光案内写真や市内鳥瞰図等を展示し、岩山自然公園地区を訪れる観光客に対する観光宣伝と市内周遊を図る。

(2) 観光ボランティア事業

盛岡ふるさとガイド事業において、令和5年度に新設した短時間コースのさらなる宣伝及び新規募集・養成したガイドの活用を図り、観光客や修学旅行生らにより一層「歩いて楽しむまち」としての魅力を発信する。

3. 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致キャンペーン事業

ア 観光客誘致事業

岩手県観光協会が開催する観光客誘致商談会等に積極的に参加し誘客促進を図るとともに、各種誘客パンフレットの提供活動を実施する。

イ 祭文化・伝統芸能活用事業

チャグチャグ馬コ、盛岡さんさ踊り、盛岡秋まつり山車など、盛岡を代表する祭りの周知宣伝活動を行うとともに、令和6年度も実施予定である「街なかさんさ発信事業」の運営及び「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」(盛岡つなぎ温泉での常設公演)の協力支援を行う。

また、盛岡芸妓宣伝周知活動により盛岡固有の日本のおもてなし文化について理解を広め、祭・文化・芸能の振興を図る。さらに、東北各地の祭を一堂に集めて仙台市で開催される「東北絆まつり 2024 仙台(6月予定)」に盛岡さんさ踊り振興協議会として盛岡さんさ踊り実行委員会とともに参

加し、全国からの来場者に盛岡の郷土芸能の魅力を発信する。

(2) 教育旅行誘致事業

ア 教育旅行誘致説明会への参加等

岩手県観光協会が開催する教育旅行誘致説明会等に参加し、当地への教育旅行の誘致活動を行う。あわせて、学校側・旅行代理店側の求めに応じ、教育効果に配慮した体験メニューの造成と提供を行い、教育旅行関係者との結びつきを継続強化する。また、来訪の期待される北海道などの旅行会社及び学校関係者と個別に連絡をとり情報収集するとともに、誘客素材の提供を行うことで商品造成と来訪を促す。

イ 教育旅行体験学習プログラムの開発や利便対策等

盛岡さんさ踊り体験学習やキャリア講話などの体験型プログラムに加え、市内施設や賛助会員を中心とした事業所等と連携してメニューの充実に努めるとともに、指定管理者として運営する施設「盛岡市観光文化交流センター（プラザおでって）」を活用し、引率教員向けの待機本部および体験学習の場として会議室を提供する等サービスの向上を図る。

(3) 外国人観光客誘致受入事業

岩手県や盛岡市などが実施する海外プロモーション活動に合わせ、時事最新の盛岡の観光素材をPRするほか、令和5年度に引き続き盛岡訪問の需要増に対し、個人旅行化、体験型化などの傾向に応じた宣伝・情報提供等に努める。また、花巻空港で実施される台湾定期便歓迎行事に継続参加して岩手県への注目度向上の一環としての盛岡広域への誘客を図る。さらに、盛岡善意通訳ガイドらと連携して外国人観光客に対する案内の充実に努める。

(4) その他観光客誘致促進事業

もりおかイルミネーションブライツ事業、いわてウインターリゾート協議会等と連携して、冬季入り込み客需要の増進を図るほか、盛岡広域圏観光の振興のため、岩手県盛岡広域振興局や、ゆかたのまち盛岡推進事業実行委員会、盛岡広域スポーツコミッション等と連携して誘客活動を展開する。また、市が実施する各種関連事業と連携し観光客受入振興を図る。

4. まつり行事振興事業

(1) まつり行事振興事業

各種まつりイベントの支援助成を行い行事の宣伝普及に努める。また、山車運行委員会、盛岡さんさ踊り振興協議会2団体の事務局業務を担当し、他の構成団体とともに祭りの特性を活かした情報PRに努める。

《主な祭りイベント（予定）》

4月：盛岡桜まつり

5月：姫神山やま開き、YOSAKOIさんさ

6月：東北絆まつり2024 仙台、チャグチャグ馬コ(6/8)、盛岡さつき祭り、大盛岡神輿祭

7月：盛岡・北上川ゴムボート川下り大会、第42回盛岡つなぎ温泉御所湖夏まつり

- 8月：盛岡さんさ踊り、盛岡七夕まつり、玉山夏まつり、盛岡花火の祭典、盛岡舟っこ流し
9月：盛岡秋まつり山車、岩洞湖まつり
9月または10月：盛岡手づくり村工房まつり、もりおか味と工芸展
10月：いわて盛岡シティマラソン
11月：第6回盛岡国際俳句大会、全日本わんこそば選手権大会
12月：もりおかイルミネーションブライト、盛岡文士劇

5. ブランド振興事業

(1) 文化イベント振興事業

盛岡広域フィルムコミッションの事務局として、ロケ誘致及びロケ支援活動を実施する。映画・テレビなどの制作会社等に対し、ホームページ等も活用しながら盛岡市及び盛岡広域市町の景観・人物・文化・特産品等の素材をもとにロケ地を紹介し映像化を推進するほか、エキストラの新規勧誘にも努める。また、映画・テレビ終了後の観光へ繋がるよう努める。

(2) その他ブランド振興事業

優良な地場産品の開発や情報発信を行っている盛岡手づくり村の事業を支援する。

6. 観光資源活用事業

(1) 東京事務所連携事業

盛岡市東京事務所及び東京ふるさと会等と連携し、首都圏での観光コンベンション振興のためPR事業を進める。

7. 玉山地域観光振興事業

(1) 玉山地域観光振興事業

ア 第58回姫神山やま開き事業 5月（委細未定）

盛岡市と連携し、日本二百名山の一つである姫神山登山の安全祈願を実施する。

イ 啄木学級事業（啄木学級文の京講座 7月5日 啄木学級故郷講座 9月7日）

盛岡市及び石川啄木記念館（公益財団法人盛岡市文化振興事業団）と連携し、啄木終焉の地であり盛岡市の友好都市でもある東京都文京区（文京シビックホール）において「文の京講座」を、啄木生誕の地である盛岡市において「故郷講座」を実施する。

ウ 玉山地域観光振興事業

ユートランド姫神の利用促進など玉山地域観光事業の実施とその周知を図る。

8. 観光客受入体制整備事業

(1) いわて・盛岡広域観光センター運営事業

日本政府観光局（JNTO）の認定を受けたビジット・ジャパン案内所「いわて・盛岡広域観光センタ

一」(盛岡駅構内南口)を運営し、国内外からの観光客に岩手県、盛岡広域などの観光情報を提供し、観光相談、交通案内、宿泊案内等に対応する。また、デジタルサイネージを活用しプロモーション動画で盛岡等の魅力を発信することにより、東北の観光案内所のネットワーク化事業による案内機能の強化と東北全体の周遊を促進する。

9. おもてなし推進事業

(1) 被災地復興支援誘客事業

岩手県沿岸地域の祭りイベント等の情報をホームページや盛岡市観光文化交流センター館内へのポスター掲出等で周知することにより、沿岸地域への誘客を支援する。

公2 【国内外からのコンベンションの誘致・支援及び情報収集等コンベンション振興に関する事業】

1. コンベンション誘致支援事業

(1) I M E 展事業

JCCB(日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)、JNTO(日本政府観光局)が共催する国内最大の MICE(会議・報奨・研修旅行、国際会議・大会、展示会・スポーツイベント等)主催者との商談会である国際 MICE エキスポ/IME に出展し、誘致活動及びコンベンション開催情報を収集する。

(2) コンベンション誘致対策事業

- ア 首都圏等の学会・大会事務局、地元主催者等に対し、各種助成・支援制度等のコンベンション関連情報を提供する誘致活動を展開するほか、今後の支援や誘致のための開催情報を収集する。また、各種助成・支援制度やコンベンション向けサービス・商品情報を提供する「岩手・もりおかコンベンションフェア」を開催し、地元主催者・キーパーソンの開催意欲向上を図るとともに、ウィズコロナ対応サービス・商品を提供できる業者を含めた地元関係機関の連携・受入態勢をさらに強化し、誘致促進を図る。
- イ (公財)金沢コンベンションビューロー、(公財)するが企画観光局(旧静岡観光コンベンション協会)、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、(一財)鹿児島国際観光コンベンション協会、当協会が構成する5都市会議に出席し、情報・意見交換し、支援内容の充実、誘致活動に活用する。
- ウ 東北地区コンベンション推進協議会が東京都内で開催する MICE 誘致商談会に参画し、盛岡及び岩手県へのコンベンション誘致促進を図る。
- エ 地方都市コンベンション関連団体((一社)つくば観光コンベンション協会、(公財)岐阜観光コンベンション協会、(公社)和歌山県観光連盟、(公財)新潟観光コンベンション協会、(一社)松本観光コンベンション協会、(公社)びわこビジターズビューロー、(公財)高松観光コンベンション・ビューロー、(一社)宇都宮観光コンベンション協会、(公財)郡山コンベンションビューロー)が首都圏で開催する誘致商談会等に参加し、誘致活動を展開する。
- オ 盛岡 M I C E 誘致 P R 動画を活用し、当協会ホームページへの掲載等を通じて、盛岡への積極的な誘致を図る。

(3) コンベンション支援事業

- ア 歓迎ポスターの作成
参加者 1,000 名以上のコンベンションを対象に歓迎ポスターを作成し、賛助会員、商店街・交通機関等に配付・掲出し、コンベンション参加者へ歓迎の意を表するとともに市民へ周知し、歓迎ムードの盛り上げを図る。
- イ 盛岡駅周辺歓迎看板の設置
コンベンション開催に際し、盛岡駅前東口バスターミナル内歓迎塔の他、盛岡駅東西自由通路さんさこみち内歓迎看板作成の支援・作成費補助を行う。
- ウ 観光ガイドマップ、コンベンションバッグの作製及び提供
各種観光パンフレットのほか、更なる観光、飲食店等の利用促進のため、コンベンション参

加者向けのクーポン付きオリジナルガイドマップを作製し、提供する。また、コンベンションバッグを廉価にて提供する。

(4) サポーター派遣育成事業

コンベンション主催者からの派遣要請を受け、MTC A サポーターを派遣し、大会参加者を歓迎し、運営業務補助を行う。併せて「MTC A サポーターの会」事業について支援し、サポーターの資質向上を図る。

2. 企画開発情報収集事業

(1) 各種情報収集連絡会参加事業

ア 東北地区コンベンション推進協議会

新潟・長岡・上越を含む東北 17 地区のコンベンション推進機関との連携強化のため、「東北地区コンベンション推進協議会」総会及び研修会に参加し、収集したコンベンション関連情報等は誘致・支援活動に活用する。

イ JCCB 主催研修会等

日本コンgres・コンベンション・ビューロー(JCCB)等が主催する会議・研修会(オンライン含)等への参加を通じ、全国の MICE 関連情報の収集を図り、誘致・支援活動に活用する。

ウ コンベンション開催調査

学会・大会主催者に対し、コンベンション開催意向調査を実施、回答をデータベース化し支援・誘致活動に活用する。

3. 盛岡 MICE 助成金交付事業

盛岡市への全国大会・国際会議等の MICE 誘致を推進し、交流人口の拡大と広域観光の振興を図るため、盛岡市内の施設を主会場として開催される MICE の主催者に対し、参加者の人数に応じて、開催経費・アトラクション料金等の一部について助成金を交付する。

公3 【自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業】

1. 自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業

(1) 盛岡市観光文化交流センター(プラザおでって)運営事業

施設の設置目的に合致した地域文化の向上と活性化につながる自主企画事業を積極的に展開するとともに、観光情報の提供や相談を行い街歩き観光の魅力を紹介する。

<自主企画事業：おでってホール>

ア おでってミュージックシアターvol.5

・多様な音楽ジャンルから種別テーマを掲げて演奏するライブ

イ おでって芸能館 vol.58 「民謡編」

・民謡や三味線演奏に愉快的トークを交えた舞台公演

ウ 中津川ベリフォークジャンボリー (共催事業)

・プラザおでって開館と共に歩むアマチュアミュージシャン達によるフォークの祭典

エ おでって芸能館 vol.59 「郷土芸能編」

・地域に根付いた貴重な伝統文化を紹介するシリーズ

オ おでって短編シアターvol.6

・落語や短編朗読等の舞台公演

(2) もりおか歴史文化館運営事業

館内「町なか情報センター」及び「ミュージアムショップ」におけるインフォメーション機能を広く観光案内分野に活用するとともに、南部家をコンセプトとした同施設を盛岡の歴史に触れるまち歩き観光の拠点と位置付け、盛岡ふるさとガイド等の運用とあわせ、街歩き観光を推進する。

収益事業

収1 【施設の管理運営事業】

1. 施設の管理運営事業

(1) 盛岡市観光文化交流センター(プラザおでっ)管理運営事業

盛岡市から指定管理者の指定（令和6～10年度）を受け、盛岡市観光文化交流センター（プラザおでっ）の管理運営業務を行う。施設設備及び備品の適切な維持管理を実行し、利用者のニーズに即したサービス向上を図り、ホール、ギャラリー、会議室、リハーサル室、広場の貸出施設の利用を推進する。また、観光文化情報プラザにおいて、観光客や市民に盛岡広域の観光パンフレットやイベント情報を提供し、英語対応可能な機能を持つ観光案内所として、日本人観光客のみならず、外国人観光客にも対応する。

収2 【収益に関する事業】

1. 収益に関する事業

(1) 観光グッズ販売事業

盛岡オリジナル観光グッズについて、従前の売れ筋商品のブラッシュアップとともに新規商品を企画、製作、販売を行い、観光サービスの充実を図る。

(2) 第三種旅行業・観光企画事業

盛岡エリアの観光施設・アイテムを盛り込んだデータコンテンツを更新し、旅行代理店等に提供することにより旅行商品の造成、送客を促す。

(3) ホテル旅館宿泊斡旋事業

観光客等への宿泊手配サービスのため、賛助会員の宿泊施設等の紹介を行う。

(4) プレイガイド事業

チケット販売等のプレイガイド業務を行い、地域文化の振興と市民の文化活動を支援するとともに、観光文化交流拠点として市民及び観光客への利便を図る。

(5) 接遇研修事業

賛助会員ほか自治体や商工会議所など観光関連団体の職員を対象とし、おもてなしの心を向上させることを目的とした「接遇研修会」を開催する。

(6) 観光カレンダー作製・配布事業

盛岡の観光カレンダーを作成し、賛助会員など関係機関・団体に配付するとともに市民、観光客向けに販売を行い、盛岡の魅力を内外に宣伝する。

(7) 推せんの店標識貸与事業

協会の賛助会員のうち、観光客や修学旅行生が安心して利用できる飲食・土産品物産・宿泊施設等の店舗について「推せんの店」として認定する。推せんの店について、協会ホームページでの店舗紹介に加え、新規に導入するデジタルマップを活用して観光客等への利便の向上を図るとともに、その普及宣伝に努めるなかで賛助会員の新規加入勧誘を推進する。

(8) その他（レンタサイクル）事業

市街地観光を推進するため、プラザおでつてを起点としたレンタサイクル事業を展開し、観光や修学旅行等に向けたサービスの向上を図る。